

のり養殖通報第1報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成26年9月19日発行

本年度も、生産安定に向けて留意点を簡潔にまとめ情報を提供していきます。

[気象]8月末以降気温は低め基調

- 気温は8月末以降低め基調に転じ、その後も一時期を除いて概ね低めで経過(図1)。
- 気象予報によると、気温は9月下旬は平年を下回るが、10月に入ると平年よりやや高めで経過すると予想されている。

[海況]栄養塩は極めて低レベル

- 新富津漁協観測ブイによる測定値では、8月末に大きく低下した水温は9月以降24℃前後で横ばいが継続。前年同期との水温差が縮小してきた(図2)。
- 9月17~18日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね23~25℃台で前年同時期とほぼ同じ水温帯。植物プランクトンは全域で小型の珪藻類が多く、特に湾奥部では濃い赤潮状態。この影響で窒素・リンともに減少。現状では健全な育苗に支障が出るレベルまで低下している(表1)。

[今後の見込みと留意点] 台風通過後の海況好転に期待

- 台風16号の予想進路は予報円の幅が大きく、現時点では本州への影響の度合いは不明。台風通過による海況好転に期待するとともに強風と大雨への備えが必要。
- 気象予報から想定すると水温は9月末に一旦低下したとしても、その後は停滞が続くと予想される。適水温(23℃)から低下傾向を示すタイミングに合わせて育苗を開始することが漁期最初の重要なポイント。現況と気象予報を考慮し先を見越して育苗を開始して下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は9月30日頃発行します。

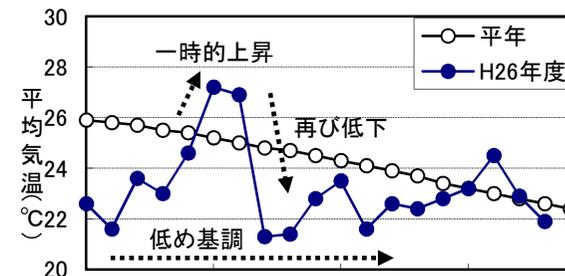


図1 日平均気温 平年との比較(千葉測候所)

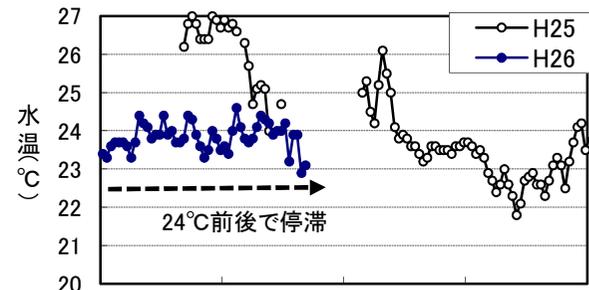


図2 昨年と今年の水温経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(内湾9/16, 内房9/17)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	24.7	26.4	8.93	1.8	18	4
盤洲Cブイ	25.6	29.6	8.54	3.5	24	5
盤洲Aブイ	25.0	27.9	8.78	2.2	25	5
富津ベタ	23.9	27.4	8.56	4.0	109	4
2海ほ下	23.7	31.7	8.27	6.2	96	15
1海ほ下	24.0	31.8	8.36	5.9	19	4
下洲ベタ	24.0	31.8	8.35	7.0	51	8
大貫ベタ	24.0	31.7	8.35	7.5	60	9
湊ベタ	24.4	31.9	8.35	6.6	31	6

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量(窒素100, リン10)を下回った調査点は網がけで表示